
ミックス犬 ハッピー

鳥居 秀樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミックス犬 ハッピー

【Nコード】

N 6 7 3 6 M

【作者名】

鳥居 秀樹

【あらすじ】

昭和40年頃、我が家で飼っていたハッピーという名のミックス犬。

その生い立ちを題材とした。短編小説です。

あるタクシー会社で大変受けた話で、私の持ちネタの中では最高傑作の1つです。愛犬家にも、そうでない方にもお勧めです。

（前書き）

この小説は、フィクションであり、登場上の人物等は、実在致しません。

(1)

昭和40年頃の話である。

場所は、愛知県名古屋市の南東部である。

現在では、地下鉄の駅が近くに在り、中心部へのアクセスも非常に便利な人口密集地となっているが、

当時はまだ、所々に畑や空地が点在していた。

当時私は8歳。3歳年下に妹がいて、親子4人幸福な家族であったと思う。

家の近くに箸屋さんがあった。

大量の木材から箸を作り、色々な店に卸していた。

大きな工場を併設し、当時の名古屋にあっても、ひと目で箸屋の家が裕福である事がわかった。

家から市場に行く道の途中に箸屋はあり、私の母と箸屋の家族とは仲が良かった。

(2)

その箸屋に『ワイヤーフォックステリア』という当時としては流行（イギリスではキツネ狩りに同行する）の犬種の犬が2匹（雄雌ペアで）いた。

毛の色は白地に黒・茶の3色で構成されており、当時の私が見ても雄雌2匹共ぬいぐるみの様に可愛く、立派に見えた。

ある晩、母が夕食時に、「箸屋の犬が妊娠をしているらしいよ。」と言った。

その夜は、親犬が2匹共、血統書付の小型犬である為、子供犬も相当可愛いであろうという話で盛り上がった。

それから2・3日して母が、

「箸屋さんが子犬をくれることになったよ。」といって喜んでいた。

子供心にも、我が家に可愛い犬が来る事は嬉しかった。

(3)

それから一週間くらいたった頃、箸屋のお姉さんが、泣きながら我が家を訪ねて来た。

胸には全身茶色の毛？で覆われた生まれたての子犬を抱き抱えていた。

お姉さんは、泣きじゃくりながら、何かをしきりと訴えていた。

その子犬は、全身が茶色で、親犬の様に白や黒色の毛は全く無く、ワイヤーフォックステリア特有の縮れ毛も無かった。

ただ、テリア特有の四角い顔をしている様な気がした。

父と母は、しきりに箸屋のお姉さんを慰めていた。

お姉さんは、何度も涙を流しながら、頭を下げていた。

(4)

結局、箸屋のお姉さんは、子犬を我が家に置いて行き、子犬は、我が家で育てることとなった。

子犬は、雌犬であった。名前は『ハッピー』と名付けられた。

母親に犬種を聞くと、「雑種よ。」と言っていた。

子供心に、血統書付の親犬からでも、雑種は生まれるのだと思った。

ハッピーは、家族に愛されながら、元気に育った。

病気になることも無く、家族を心配させる事も無かった。

食事は、家族の残り物を食べた。

腐ったものを誤って食べた時には、自ら草を食べ、胃の中をきれいにしていた。

散歩に連れて行くと、元気に飛び回った。

毛の色は相変わらず茶色のままであった。

(5)

私が18歳の頃であつたと思う。

偶然その箸屋の前を通りがかった際、2匹のワイヤーフォックステリアを目撃した。

これが、我が家の『ハッピー』の親犬か。と思つた瞬間、『ハッピー』が雑種犬である事を理解した。

2匹の雄雌の老犬は、道沿いに離れて繋がれていた。

それから暫くして、『ハッピー』は、市の保健所に引き取られた。名古屋市は、野良犬の一掃に力を入れ、その後、野良犬は殆どいなくなつた。

現在では、雑種犬という言い方は使われておらず、ミックス犬という言い方が正しいとの事である。

（後書き）

小説を読んで頂き有難うございました。

小説の中に出て来るお姉さんの心情、子犬を迎えた家族の心情を想像頂けたら幸甚です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6736m/>

ミックス犬 ハッピー

2011年1月3日21時40分発行